

受注段階で融資実行

Tranzax

指す「Purchase Order」

フィンテックベンチャーの略語。電子債権記録サービスのTranzax（トランザックス、東京・港）は1日、電子記録債権の仕組みを使って案件の受注時点で債権担保融資を実現する「POファイナンス」と呼ぶ資金調達で、城南信用金庫（東京・品川）と業務提携を結んだ。仕上がり段階の商品やサービスを担保に資金調達の道を開く世界初の取り組み。金融機関との提携は初めて。

POファイナンスのPOとは、日本語で受注を指す「Purchase Order」の略語。電子債権記録サービスのTranzax（トランザックス、東京・港）は1日、電子記録債権の仕組みを使って案件の受注時点で債権担保融資を実現する「POファイナンス」と呼ぶ資金調達で、城南信用金庫（東京・品川）と業務提携を結んだ。仕上がり段階の商品やサービスを担保に資金調達の道を開く世界初の取り組み。金融機関との提携は初めて。

POファイナンス、城南信金と業務提携

協定書を交したトランザックスの小倉隆志社長（左）と城南信金の渡辺泰志理事長（城南信金本店）



事長は「POファイナンスは、これまでない画期的な融資手法。ニールズは、これまでにない提携相手として選んでもらえて光栄」と語った。

ズのある幅広い取引先に、資金繰り改善のツールとして積極的に活用したい」と高く評価。今年7月以降、取引先へのサービス提供を始める計画だ。

1日に開かれた会見で、トランザックスの小倉隆志社長は「信用金庫最大の城南信金に」